

令和8年度 遠野市立土淵小学校働き方改革アクションプラン

遠野市立土淵小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

- ◆教職員一人一人が労働時間をマネジメントし、時間外在校時間の削減に取り組む職場。
- ◆教職員がお互いに協力し合い、仕事へのやりがいを感じながら、前向きに教育活動に取り組むことができる職場。
- ◆自分のライフワークバランスを意識し、教職員が心身ともにウェルビーイングを目指す職場。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校時間の削減

- ◆教職員一人一人が自分の時間外在校時間を把握することにより、勤務時間を意識して業務を推進する。
- ◆定期的に校内労働安全衛生委員会を開催し、時間外在校時間等の状況を確認・共有するとともに、対応策を協議し、改善を図っていく。
- ◆早く帰れるときは遠慮せず、早めに退庁できるよう、教職員に声掛けをする。
(例：出張した際は、直帰を勧奨する、定時退庁する日を予め決めておく、など)

取組② 教職員一人一人がやりがいを感じる職場風土の醸成

- ◆見通しをもち、計画的に業務を進めることができるよう、進捗状況や段取りを担当者内で確認する時間を確保する。
- ◆教職員個々の業務内容を見取り、達成感や充実感、自己成長を感じることができるよう、声掛けや励ましを心掛ける。
- ◆自分の目指すキャリアの実現に向け、将来を見据えた自己啓発・能力開発に取り組むことができるよう支援する。

取組③ ワークライフバランスの充実とウェルビーイングの向上

- ◆お互いが自分の意見を安心して話し、気軽にコミュニケーションがとれるような職員室の雰囲気作りを醸成する。
- ◆健康で豊かな生活のための時間を確保することができるよう、行事や各種取組の内容の見直し、改善を図っていく。
- ◆定期的に研修、振り返り等を行うことにより、教職員同士の人権尊重意識の向上を目指す。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	月45時間以上の職員がいる。	月45時間以上の人数を5人以下にする。	①
目標②	定時退庁をする(できる)教職員はほとんどいない。	教職員全員が月1回以上17時までには退庁する。	②
目標③	休日にも出勤する職員がいる。	肯定的自己評価80%以上にする。	③

